

海水浴場水質調査



金沢区の「海の公園」は、市民に親しまれている横浜市で唯一の海水浴場です。5月（海水浴場開設前）及び7月（開設中）に環境省の依頼により検査を行い、調査結果を報告しました。

海水浴場水の採水は、健康福祉局生活衛生課が金沢福祉保健センター、環境創造局および（財）横浜市臨海環境保全事業団の協力を得て行いました。

1 対象施設及び試料

- (1) 対象施設 : 「海の公園」海水浴場
- (2) 採水日 : 平成22年5月10日・12日、7月7日・8日・13日・14日
- (3) 試料 : 「海の公園」沖3地点で、1日に2回（午前・午後）採水した海水 延6日間 計36試料

2 検査項目

水質評価項目および参考検査項目を表1に示しました。

表1 検査項目

検査担当	水質評価項目	参考検査項目
福祉保健センター	油膜の有無、透明度	水温、気温、透視度、臭気等
衛生研究所	ふん便性大腸菌群数 化学的酸素要求量(COD _{Mn})法	病原性大腸菌O157、 一般細菌数、pH

3 検査方法

環境省通知で定められた方法で実施しました。また、COD_{Mn}法については、日本工業規格K0102の17に定める方法で実施しました。

4 検査結果と判定区分

水質判定項目と参考検査項目の結果は表2のとおりでした。環境省への報告値は、5月と7月の各2日分の検査結果から環境省通知で定められた方法で算出します。その結果を水浴場水質判定基準で判定したところ、油膜が認められない、透明度1m未満～50cm以上、ふん便性大腸菌群数100個/100mL以下およびCOD_{Mn} 5mg/L以下であったことから、判定区分は「水質B」でした。

水浴場の水質は水質評価項目によって適（「水質AA」、「水質A」）、可（「水質B」、「水質C」）、不適を判定して区分します。

表2 「海の公園」海水浴場の水質検査結果および環境省への報告値

採水日	5月		7月				環境省への報告値	
	10日	12日	7日	8日	13日	14日	5月	7月
水質判定区分							B	B
油膜の有無	無	無	無	無	無	無	無	無
透明度 (m)	1.0以上	1.0以上	0.8～ 1.0以上	0.8～ 1.0以上	0.6～ 1.0以上	1.0以上	1.0以上	0.9
ふん便性大腸菌群数 (個/100mL)	2未満	2未満～50	2～100	14～240	4～44	4～130	13	40
COD _{Mn} (mg/L)	3.9～5.1	4.8～6.3	5.3～7.1	5.0～14	3.2～7.7	3.1～4.7	5.0	4.7
病原性大腸菌O157 (/3000mL)	不検出	—	不検出	—	不検出	—	—	—
一般細菌数 (cfu/mL)	7～23	10～66	2～52	6～58	21～71	45～96	—	—
pH	8.4～8.5	8.5～8.6	8.4～8.6	8.3～8.5	8.1～8.4	8.4～8.5	—	—

【検査研究課 水質担当】